

報道機関各位

大規模災害への派遣を想定

令和8年10月9日
北九州市消防局

～生死を分かつ 72 時間の境界線。24 時間 ‘夜を徹した’ 訓練～

「北九州市国際消防救助隊総合訓練」を実施



海外で発生した大規模な災害（地震など）へ派遣され、活動することを想定した「北九州市国際消防救助隊総合訓練」を実施します。実際の現場活動と同様に、近隣消防本部、海上保安庁及び医師・看護師などの他機関と連携した大規模な訓練となりますので、ぜひ取材方お願いいたします。

1 日時・場所

- (1) 令和8年11月5日（木）9時30分～翌6日（金）14時30分
- (2) ① 北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目2番5号）
② 旧日明工場（小倉北区西港町96番地の2）
③ 北九州市住宅供給公社 小芝団地（戸畑区小芝三丁目13番15号、20号）
④ 日本製鉄株式会社九州製鉄所 堂ヶ峰寮（戸畑区東鞆ヶ谷町5番1号）

2 参加機関

北九州市消防局、福岡市消防局、下関市消防局、熊本市消防局、大分市消防局、第七管区海上保安本部、国際緊急援助隊救助チーム医療班 計7機関 約70名

3 主催 北九州市消防局

4 協力 日本製鉄株式会社九州製鉄所、北九州市住宅供給公社、北九州市環境局

5 その他

- (1) 各訓練の概要、実施場所及び実施時間帯については、別紙を参照してください。

【問い合わせ先】

消防局警防課消防救助係

担当：長野、川本

電話番号：093-582-3817

訓練概要

「国際消防救助隊」は全国 77 消防本部 599 人、北九州市消防局からは精鋭 11 人が登録されており、海外で大規模災害が発生した際に派遣されます。

この訓練では、生存限界の目安とされる発災から 72 時間という時間を意識して、夜通しで実践的な訓練を行うもので、昭和 62 年から実施されており、今回で 36 回目を迎えます。

1 訓練スケジュール

日 時	場 所	概 要
11 月 5 日（木） 9 時 30 分～11 時	消防訓練研修センター	結団式、訓練想定・資器材説明、班編成等海外派遣時同様のシミュレーション
11 時 ～12 時	移動	資器材積載～移動～資器材振り分け、準備
12 時頃 ～ 11 月 6 日（金）12 時	旧日明工場 小芝団地 堂ヶ峰寮	活動開始～活動終了
12 時 ～13 時	移動	資器材撤収後、消防訓練研修センター移動
14 時 ～14 時 30 分	消防訓練研修センター	解団式

※時間は前後する場合があります。予めご了承ください。

2 訓練の詳細（11月5日（木）12時頃から）

救助手法	活動内容（イメージ）
クリビング	一定の長さの木材（クリブ材）をやぐらを組むように積み重ね、重量物等の荷重を受けることで安定化を図る技術です。 
ショアリング	余震等により更なる倒壊等の危険がある被災建物等において、安全を確保しながら救助活動を実施するため、建物外部や内部、窓やドア等の開口部に支柱等を設定し、応急的に建物を支える技術です。 
ブリーチング	災害により倒壊した建物内等に取り残された要救助者を救助するため、鉄筋コンクリート造の天井、床、壁に部分的に穴を開け、隊員の進入口や要救助者の救出用の開口部を作る技術です。 
CSR/M	倒壊したビルや狭い地下空間等、いつ崩れるか分からない危険で狭い場所へ入り、捜索・救助活動をするのを CSR といいます。また、医師（看護師）と救助隊員が協力して、その場で救命処置を行う活動を CSM といいます。 